

2022年3月31日

横浜ゴム、低燃費性能重視型トラック用オールシーズンタイヤ 「BluEarth 711L」を先行発売

横浜ゴム（株）は、低燃費性能重視型トラック用オールシーズンタイヤ「BluEarth 711L（ブルーアース・ナナイチイチエル）」を2022年4月中旬より全国のヨコハマタイヤ販売会社を通じて、先進技術を駆使したモデルとして先行販売^{※1}します。発売サイズは275/80R22.5と245/70R19.5の2サイズで、価格はオープンプライス。

「BluEarth 711L」は、YOKOHAMAのトラック用タイヤ史上最高の燃費性能に到達しました。この性能アップが高速道路を走行する割合の高いお客様の輸送コストを大幅に削減します。先進技術である剛性を高めた新開発トレッドパターンに加え、新規のコンパウンド配合とYOKOHAMA独自の混合技術によって、当社のオールシーズンタイヤ「710R」に対して転がり抵抗を42%低減^{※2}出来ました。一般的にトラック用タイヤに低燃費仕様のトレッドコンパウンドを採用すると耐摩耗性能は低下しますが、新開発のコンパウンド採用により、従来品「ZEN 702ZE-i」と同等以上の耐摩耗性能を有し、かつ耐偏摩耗性能、ウェット性能、雪上性能や静粛性についても同等の性能を確保しました。

※1：実証実験を行ったユーザーを中心に先行販売し、2023年より一般販売を予定しています。

※2：性能データについてはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

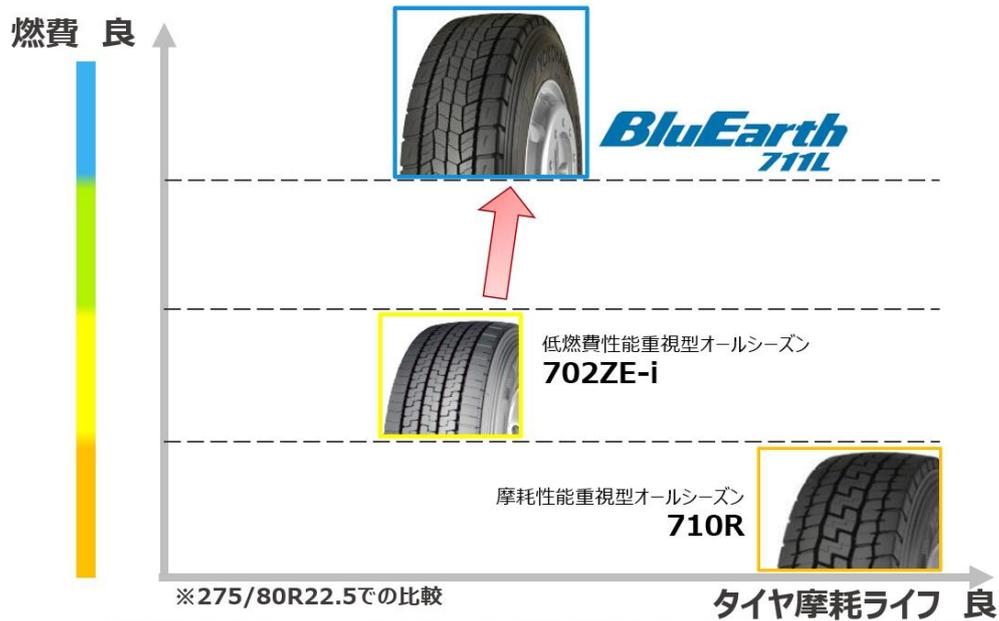
新開発のトレッドパターンでは、センター部にブロック密集レイアウトを採用。サイプと細溝で分断されたブロックがスクラムを組むようお互いを支え合う事で、排水性を確保しつつ、タイヤが接地する際のブロック変形を抑制します。またトレッドコンパウンドでは、「ZEN 702ZE-i」に比ベシリカ配合量を大幅にアップするとともに、その効果を最大限に発揮させるために、新規のポリマーを採用し、かつ新しい混合技術の開発も行いました。

「BluEarth」は横浜ゴムのグローバル低燃費タイヤブランド。「環境性能のさらなる向上 + 人に、社会にやさしい」をテーマに独自の新技术開発に取り組んでいます。乗用車用タイヤでは、国内タイヤラベリング制度の転がり抵抗性能で最高グレード「AAA」を獲得した商品を含む豊富なラインアップを展開しています。今回「BluEarth 711L」は、国内向け大型トラック用タイヤとして初めて「BluEarth」を冠した商品として発売します。

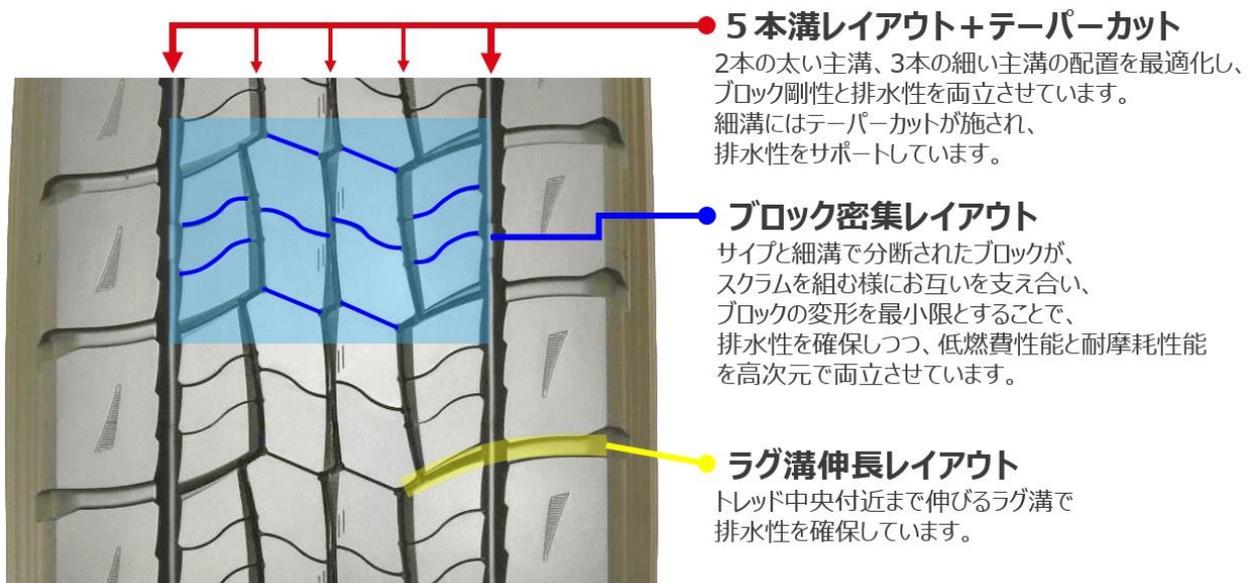
横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）においてタイヤ生産財事業のさらなる強化を掲げています。その施策のひとつとしてトラック・バス用タイヤ事業の強化に取り組み、事業基盤の整備、増産投資に加えて商品ラインアップの拡充を進めています。



性能比較データ



新開発トレッドパターン



(イメージ)

新開発コンパウンド

より多くのシリカと、新規採用ポリマーを効果的に配合。これに原材料に合わせた最新の混合技術を適用したことで、大幅な低燃費性能向上と、従来品「ZEN 702ZE-i」同等以上の耐摩耗性能を両立。



このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570